

平成27年度 第1回 松浪地区まちぢから協議会防災対策部会 議事要旨（案）

1 日 時 平成27年5月27日（水）午後6時30分より

2 場 所 松浪コミュニティセンター会議室1・2

3 出席者 自治会長、自治会の防災部長等、事務局（市民自治推進課）

4 開催目的

部会長選任についての報告、副部会長の選任、防災対策部会部会員登録の依頼、防災訓練実行委員会委員の登録依頼、今後の進め方についての意見交換

5 新部会長選任の報告

松浪地区まちぢから協議会 規約第23条 運営委員会は次の事項を審議し、議決する。（1）部会長の選任及び解任に関する事項 により、5月20日（水）総会後の運営委員会で有川委員を新部会長に選任いたしました。

6 議題

（1）副部会長の選任について

松浪地区まちぢから協議会規約第24条各部会は委員及び部会員で構成する。（4）副部会長は、部会の中から互選により選任する。

【出された主なご意見】

◎緑が浜自治会牧島会長から、緑が浜自治会の田中氏を推薦。

【合意事項】

◎満場一致で、副部会長を緑が浜の田中氏に選任することを合意。

（2）平成27年度防災対策部会部会員登録依頼

別紙「平成27年度防災対策部会部会員登録依頼」を各団体から提出いただきたい旨を説明。

（3）平成27年度防災訓練実行委員会委員登録依頼

別紙「平成27年度防災訓練実行委員会委員登録依頼」を各団体から提出いただきたい旨を説明。

（4）その他

【出された主なご意見】

◎昨年の市民集会でクラスター火災対策のことについてもテーマとして取り扱ったが、その後、防災対策部会で議論進められなかった。

◎防災対策部会として、災害発生前にすべき平常時の事前の対策、災害発生後にすべき有事の際の取り組みに分けて、部会の活動を進めてはどうか。

◎災害発生前にすべき平常時の取り組みとしては、基本的なデータ（例：焼失家屋想定数、死亡者総定数、市の防災対策の計画等）の情報共有が大切ではないか。

- ◎平塚市、藤沢市に比べて、災害情報の共有が行政用防災無線にかたよりにあるように思える。隣近所同士のコミュニケーション・協力が大切。昨年の安否確認訓練を通じて、隣近所のつながりが強くなった。
- ◎地区全体の共通の課題の共有が必要ではないか。例えば、クラスター火災、道路閉塞の課題について、松浪地区全体の状況・基礎的データを共有した上での議論が必要ではないか。
- 今年の市民集會もテーマ別に実施予定。具体的には分科会形式で行う予定であり、クラスター火災についてもそうした中で話し合う場も設定できるのではないか。
- 茅ヶ崎市の都市政策課から提案のあったまちぢから応援ツール（感震ブレイカー等）についても、今年度具体的な動きがあると思う。
- 例えば、浜竹四丁目では、災害発生後により多くの人が生き延びることを目的とした趣旨のチラシを1000部印刷し、周知した。そうしたソフト的な事業も部会として取り組んでもよいのではないか。
- 日々の活動を通じて、クラスター火災対策が本当に実現可能なのか。地震・火災発生時の高齢者の避難も不安がある。有事の際に、本当に実現可能な防災マニュアルをつくり、共有すべきではないか。
- 高齢者世帯が多くなり、若い世代の転入者も多い。地域住民同士が同じ情報を共有することが大切ではないか。（浜竹四丁目では、ブログ等での情報発信を行っている。）
- ◎防災対策部会としての平常時の課題に対する取り組みと、防災訓練の取り組み、両輪での活動が大切ではないか。

(5) 今後の日程について

- ◎第2回防災対策部会：6月18日（木）18時30分～20時30分
松浪コミュニティセンター ホール1・2

以上